

口腔保健学科のアドミッションポリシー (このような学生を求めています)

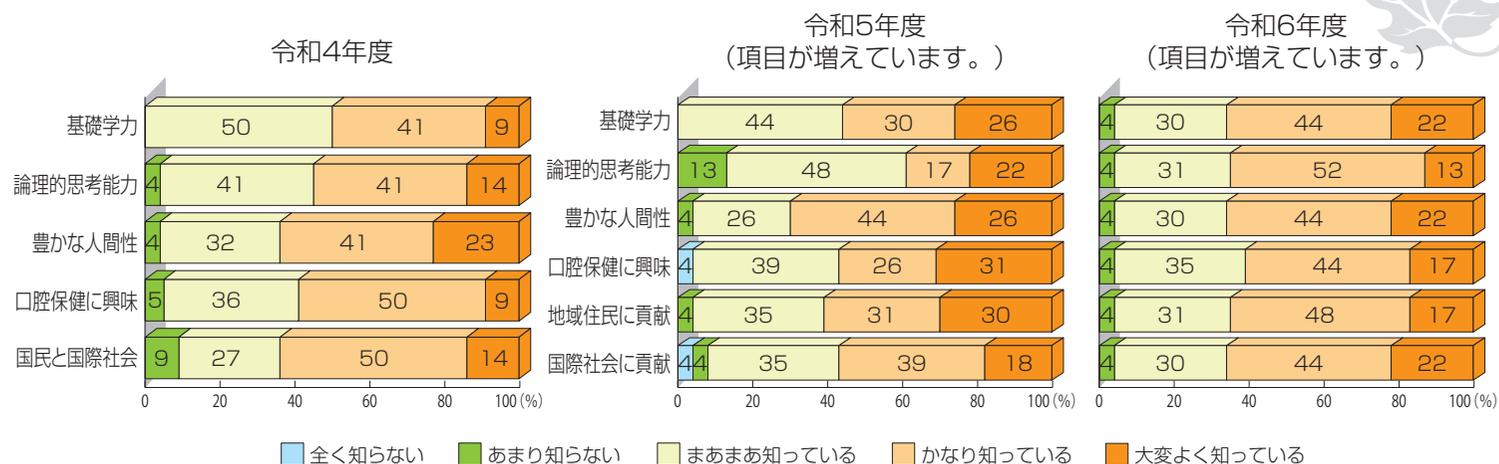
1. 口腔保健学教育を受けるために必要な幅広い基礎知識及び教養を備えている人
2. 論理的思考能力、判断能力及び問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組む人
3. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
4. 口腔保健及び保健医療福祉に強い目的意識を持ち、生涯を通じて学修意欲を持続できる人
5. 歯科衛生士として地域住民の健康増進に貢献しようという強い意欲を持った人
6. 口腔保健活動により国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

アンケート調査結果を報告します

令和4～令和6年度の口腔保健学科1年生および歯学科1年生において、各学科のアドミッションポリシーの周知度について比較しました。

① 口腔保健学科におけるアドミッションポリシー周知

令和6年度は令和5年度と比較し、論理的思考能力の項目において「大変よく知っている」、「かなり知っている」の割合が増加しました。さらに全ての項目で「大変よく知っている」、「かなり知っている」の割合が6割程度となりました。

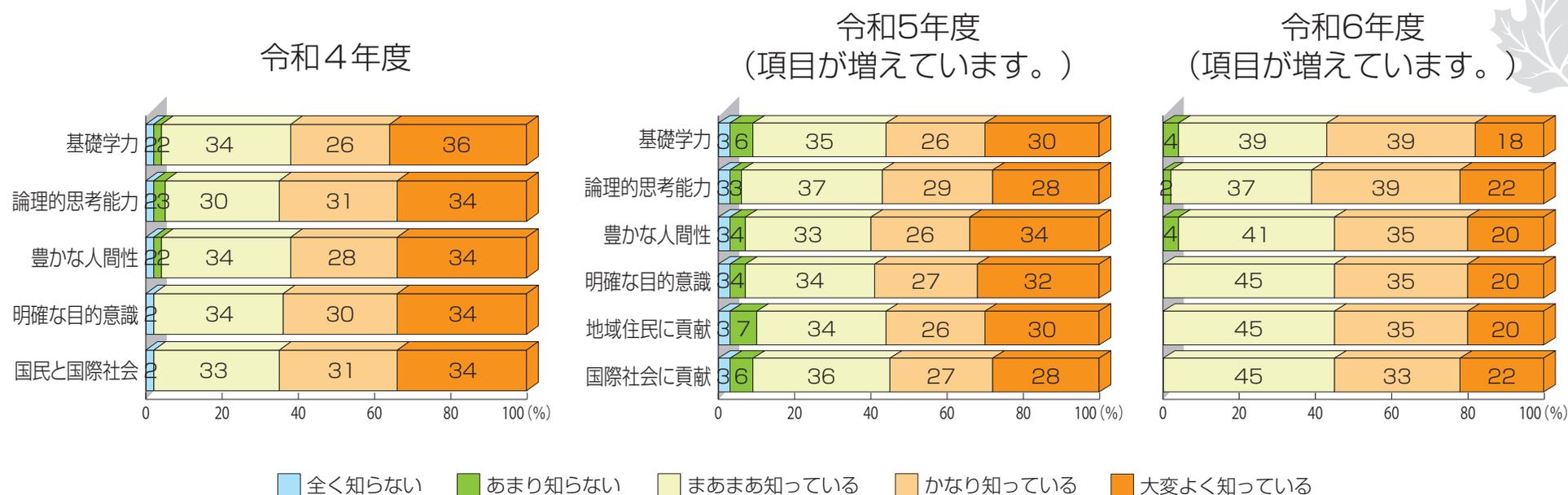


歯学科のアドミッションポリシー（このような学生を求めています）

1. 歯学及び歯科医療の修得に必要な幅広い基礎知識及び教養を備えている人
2. 論理的思考能力、判断能力及び問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
3. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
4. 歯学及び歯科医療について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学修意欲を持続できる人
5. 歯科医師として地域住民の健康増進に貢献しようという強い意欲を持った人
6. 歯科医療活動により国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

② 歯学科におけるアドミッションポリシー周知

令和4年度以降、各項目の周知度は比較的高い状態で保たれています。令和6年度は令和5年度と比較し、「全く知らない」、「あまり知らない」の割合が減少し、かなり低い状態となっています。今後のさらなる周知度の向上を期待します。



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。